

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2010-5283(P2010-5283A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-170803(P2008-170803)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示部を備え、前記可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて、識別情報の可変表示が開始されてから表示結果が導出表示されるまでに一旦非特定表示結果となる識別情報を仮停止させた後に全ての識別情報について可変表示を再度実行する再可変表示を 1 回または複数回実行するための再変動パターンを含む複数種類の変動パターンからいずれかの変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

前記変動パターン決定手段によって決定された変動パターンにもとづいて、前記識別情報の可変表示を実行する可変表示制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて、前記特定表示結果となる可能性があることを報知する予告演出である予め定められた系統に従って 1 段階から複数段階まで演出が段階的に変化するステップアップ予告演出の演出態様を、前記特定表示結果となる場合に前記特定表示結果とならない場合よりも高い割合で予め定められた段階まで演出が変化するように決定するステップアップ予告演出決定手段と、

前記ステップアップ予告演出決定手段の決定結果にもとづいて前記ステップアップ予告演出を実行するステップアップ予告演出実行手段とを備え、

前記変動パターン決定手段は、再可変表示を N 回実行する第 1 再変動パターンよりも、再可変表示を M 回 ($N < M$) 実行する第 2 再変動パターンの方が、前記事前決定手段において前記特定表示結果とすると決定されている可能性が高くなるように設定された変動パターン決定用データを用いて、前記再変動パターンを決定し、

前記ステップアップ予告演出実行手段は、前記可変表示制御手段による識別情報の可変表示の実行中において、前記識別情報の可変表示の開始から初回の仮停止までの期間、および 1 回実行される再可変表示中の期間または複数回実行される再可変表示中の各々の期間に前記ステップアップ予告演出を実行し、

前記ステップアップ予告演出決定手段は、前記変動パターン決定手段が前記第2再変動パターンを決定したときにのみ、N回目の再可変表示中の期間において実行されるステップアップ予告演出として $a(a \geq 2)$ 段階未満の段階数のステップアップ予告演出の演出態様を決定する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技媒体を用いて1ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々を識別可能な複数種類の入賞用識別情報を可変表示させる入賞用可変表示部に表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、該入賞用可変表示部に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能である遊技機であって、

前記入賞用可変表示部の表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利な特定遊技状態への移行を伴う特定入賞を含む複数種類の入賞各々の発生を許容するか否かを決定する入賞用事前決定手段と、

前記入賞用事前決定手段の決定結果に応じて、前記入賞用可変表示部に表示結果を導出させる制御を行なう入賞用導出制御手段と、

前記特定入賞に対応する特定入賞表示結果が前記入賞用可変表示部に導出されたときに、前記特定遊技状態に制御する特定遊技状態制御手段と、

各々を識別可能な複数種類の演出用識別情報を可変表示する演出用可変表示部と、

前記演出用可変表示部における演出用識別情報の表示結果があらかじめ定められた特殊表示結果となることによって、遊技者にとって有利な状態に移行する移行条件が成立していることを示唆する示唆演出手段と、

前記特殊表示結果とするか否かを、演出用識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する演出用事前決定手段と、

前記演出用事前決定手段の決定結果にもとづいて、演出用識別情報の可変表示が開始されてから表示結果が導出表示されるまでに一旦非特殊表示結果となる演出用識別情報を仮停止させた後に全ての演出用識別情報について可変表示を再度実行する再可変表示を1回または複数回実行するための再変動パターンを含む複数種類の変動パターンからいずれかの変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

前記変動パターン決定手段によって決定された変動パターンにもとづいて、前記演出用識別情報の可変表示を実行する演出用可変表示制御手段と、

前記演出用事前決定手段の決定結果にもとづいて、前記特殊表示結果となる可能性があることを報知する予告演出である予め定められた系統に従って1段階から複数段階まで演出が段階的に変化するステップアップ予告演出の演出態様を、前記特殊表示結果となる場合に前記特殊表示結果とならない場合よりも高い割合で予め定められた段階まで演出が変化するように決定するステップアップ予告演出決定手段と、

前記ステップアップ予告演出決定手段の決定結果にもとづいて前記ステップアップ予告演出を実行するステップアップ予告演出実行手段とを備え、

前記変動パターン決定手段は、再可変表示をN回実行する第1再変動パターンよりも、再可変表示をM回($N < M$)実行する第2再変動パターンの方が、前記演出用事前決定手段において前記特殊表示結果とすると決定されている可能性が高くなるように設定された変動パターン決定用データを用いて、前記再変動パターンを決定し、

前記ステップアップ予告演出実行手段は、前記演出用可変表示制御手段による演出用識別情報の可変表示の実行中において、前記演出用識別情報の可変表示の開始から初回の仮停止までの期間、および1回実行される再可変表示中の期間または複数回実行される再可変表示中の各々の期間に前記ステップアップ予告演出を実行し、

前記ステップアップ予告演出決定手段は、前記変動パターン決定手段が前記第2再変動パターンを決定したときにのみ、N回目の再可変表示中の期間において実行される前記ステップアップ予告演出として $a(a \geq 2)$ 段階未満の段階数のステップアップ予告演出の演出態様を決定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

事前決定手段によって特定表示結果としない旨の決定がなされたことにもとづいて、識別情報の可変表示状態を所定のリーチ状態とするか否かを決定するリーチ決定手段と、事前決定手段の決定結果またはリーチ決定手段による決定結果の少なくとも一方にもとづいて、再変動パターン種別を含む複数種類の識別情報の変動パターン種別のいずれかに決定する変動パターン種別決定手段とを備え、変動パターン決定手段は、変動パターン種別決定手段により決定された変動パターン種別に含まれる変動パターンの中から識別情報の変動パターンを決定し、可変表示制御手段は、変動パターン決定手段の決定結果に対応して、識別情報の可変表示中に当該識別情報の可変表示を含む演出動作を実行するように構成されることによって、プログラム容量の増加を招くことなく、リーチ状態とならない場合においても多様な演出を実行して遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項2記載の発明では、変動パターン決定手段は、再可変表示をN回実行する第1再変動パターンよりも、再可変表示をM回 ($N < M$) 実行する第2再変動パターンの方が、演出用事前決定手段において特殊表示結果とすると決定されている可能性が高くなるように設定された変動パターン決定用データを用いて、再変動パターンを決定し、ステップアップ予告演出実行手段は、演出用可変表示制御手段による演出用識別情報の可変表示の実行中において、演出用識別情報の可変表示の開始から初回の仮停止までの期間、および1回実行される再可変表示中の期間または複数回実行される再可変表示中の各々の期間にステップアップ予告演出を実行し、ステップアップ予告演出決定手段は、変動パターン決定手段が第2再変動パターンを決定したときのみ、N回目の再可変表示中の期間において実行されるステップアップ予告演出として $a(a-2)$ 段階未満の段階数のステップアップ予告演出の演出態様を決定するように構成されているので、遊技者はN回目の再可変表示中の期間において a 段階未満の段階数のステップアップ予告演出が実行されたときは再可変表示がN回よりも多い回数実行されることを認識できるため、特殊表示結果に対する期待感を高め、遊技の興趣の向上を図ることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

演出用事前決定手段によって特殊表示結果としない旨の決定がなされたことにもとづいて、演出用識別情報の可変表示状態を所定のリーチ状態とするか否かを決定するリーチ決定手段と、演出用事前決定手段の決定結果またはリーチ決定手段による決定結果の少なくとも一方にもとづいて、再変動パターン種別を含む複数種類の演出用識別情報の変動パターン種別のいずれかに決定する変動パターン種別決定手段とを備え、変動パターン決定手段が、変動パターン種別決定手段により決定された変動パターン種別に含まれる変動パターンの中から演出用識別情報の変動パターンを決定し、演出用可変表示制御手段が、変動パターン決定手段の決定結果に対応して、演出用識別情報の可変表示中に当該演出用識別

情報の可変表示を含む演出動作を実行するように構成されることによって、プログラム容量の増加を招くことなく、リーチ状態とならない場合においても多様な演出を実行して遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

ステップアップ予告演出は、3段階以上の演出態様に段階的に変化可能であり、変動パターン決定手段は、再可変表示をM回実行する第2再変動パターンよりも、再可変表示をL回($M < L$)実行する第3再変動パターンの方が、事前決定手段において特定表示結果とすると決定されている可能性または演出用事前決定手段において特殊表示結果とすると決定されている可能性が高くなるように設定された変動パターン決定用データを用いて、再変動パターンを決定し、ステップアップ予告演出決定手段は、変動パターン決定手段が第3再変動パターンを決定したときにのみ、M回目の再可変表示中の期間において実行されるステップアップ予告演出として $b(b-3)$ 段階未満の段階数のステップアップ予告演出の演出態様を決定するように構成されることによって、M回目の再可変表示中の期間において b 段階未満の段階数のステップアップ予告演出が実行されたときは再可変表示がL回実行されることが確定することになり、N回目の再可変表示中のみならずM回目の再可変表示中においても特定表示結果または特殊表示結果に対する期待感を高め、遊技の興趣の向上を図ることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

ステップアップ予告演出決定手段が、一の再可変表示中の期間において実行されるステップアップ予告演出の段階数が所定段階であるときに当該一の再可変表示よりも後の再可変表示中の期間において実行されるステップアップ予告演出の段階数が所定段階以上となるように設定された予告決定用データを用いて、ステップアップ予告演出の演出態様を決定するように構成されることによって、再可変表示中の期間において実行されるステップアップ予告演出の段階数が、その再可変表示よりも前の再可変表示中の期間において実行されたステップアップ予告演出の段階数よりも少なくならず、特定表示結果または特殊表示結果に対する期待感を効果的に高めることができるとともに、遊技者に不信感を与えることを防止することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

ステップアップ予告演出実行手段が、再変動パターン以外の変動パターンにもとづく識別情報または演出用識別情報の可変表示の実行中においてステップアップ予告演出を実行し、ステップアップ予告演出決定手段が、ステップアップ予告演出の演出態様として予め定められた通常系統で演出が段階的に変化する通常ステップアップとするか、所定段階までは通常系統と共通の演出に変化し、所定段階以降は通常系統と異なる演出に変化する分岐系統で演出が段階的に変化する分岐ステップアップとするかと、演出の変化の段階数とを予告決定用データを用いて決定するように構成されることによって、通常ステップアップ

ブが分岐するため、ステップアップ予告演出パターンにバリエーション（多様性）を持たせることができ、より一層の遊技の興趣の向上を図ることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

遊技者が操作可能な操作手段を備え、分岐ステップアップは、遊技者による操作手段の操作に応じて実行されるように構成されることによって、遊技者の遊技への参加意欲を喚起し、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

事前決定手段の決定結果にもとづいて特定表示結果または特殊表示結果となる可能性があることまたは演出用事前決定手段の決定結果にもとづいて特殊表示結果となる可能性があることを報知する予告演出であり、ステップアップ予告演出とは異なる特定予告演出を実行する特定予告演出実行手段と、ステップアップ予告演出と特定予告演出とが可変表示中の同一期間に同時に実行されることのないようにいずれの予告演出とするかを決定する予告演出種類決定手段とを備えるように構成されることによって、ステップアップ予告演出と特定予告演出とが同時に実行されて遊技者にとって予告演出の内容が認識困難となるのを防止することができる。さらに、制御フローを簡易化することができるとともに、制御負担の軽減を実現することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

事前決定手段の決定結果にもとづいて特定表示結果または特殊表示結果となる可能性があることまたは演出用事前決定手段の決定結果にもとづいて特殊表示結果となる可能性があることを報知する予告演出であり、ステップアップ予告演出および特定予告演出とは異なる特別予告演出を実行する特別予告演出実行手段と、特別予告演出をステップアップ予告演出または特定予告演出と可変表示中の同一期間に同時に実行するか否かを決定する特別予告演出決定手段とを備えるように構成されることによって、ステップアップ予告演出（通常ステップアップ、分岐ステップアップ）または特定予告演出と同時に実行可能な特別予告演出をさらに備えることになるため、遊技者の特定表示結果（大当たり）に対する期待感をより一層高めて遊技の興趣の向上を図ることができる。